

商店街名：日比野商店街振興組合（名古屋市熱田区）

【代表者：理事長 三輪金久】

●キャッチフレーズ

学生や地域とのコラボで 商店街の魅力アップ！心通うまちづくりを推進！

●活性化モデル商店街としてのモデル性

地域の歴史・観光・産業資源や大学・NPOなどの人的資源を活かしコミュニティに支えられたまちづくりを目指す、地域コミュニティ創生型商店街

◎商店街の将来ビジョン

日比野商店街周辺は、堀川、白鳥公園、熱田神宮など歴史・観光資源に囲まれているほか、産業関連施設や中央卸売市場、名古屋学院大学さらには、年間100万人もの来場者のある国際会議場といった大規模施設が立地しているが、外からの商店街来街者は少ない。

また、昔からの住居者の高齢化が進む一方、新たに建設されたマンションに若い世帯も増加しており、地域コミュニティの形成が課題となっている。

こうした背景の中、市と名古屋学院大学が地域づくりで協定を締結しNPOが誕生するなどしており、商店街も地域コミュニティの核となり活気と賑わいにあふれたまちづくりを目指す。

1 商店街情報の発信・個店の魅力向上

スタンプラリーや情報誌の発行により地域住民だけでなく、地域外からの来訪者も商店街へ吸引する。

2 地域団体との連携によるコミュニティ形成

NPOや授産施設等との連携イベントにより地域コミュニティの醸成に取り組む。

3 COP10を契機とした快適な環境づくり

清掃や間伐材の有効活用によりCOP10開催地にふさわしいまちづくりをすすめる。

4 産業観光資源の発掘

地域に点在する産業観光資源の発掘・紹介に取り組み地域の魅力を発信する。

◎具体的に取組む事業内容

○商店街情報の発信・個店の魅力アップ事業(21年度～22年度)

スタンプラリーひびのタウンズ及び、商店街グルメ情報誌の発行

○地域団体との連携によるコミュニティづくり(21年度～22年度)

NPOとの連携による子供職業体験事業、授産所等との連携によるイベントの開催

○COP10を契機とした快適な環境づくり(21年度～22年度)

毎月の清掃活動(expo エコポイント付与)、間伐材オリジナルベンチの作成・設置

○まちの魅力発掘事業(21年度～22年度)

産業観光資源の発掘・紹介に取り組み、地域の魅力を発信する